

建災防宮城県支部からのお知らせ

令和6年8月1日



暑中お見舞い申し上げます
皆様のご健勝をお祈りします



令和6年度産業安全衛生宮城大会が開催されました！

全国安全週間の主要行事の一環として、宮城労働局主唱のもと、各災害防止団体が共催で開催している産業安全衛生宮城大会が、7月3日、イズミティ21で、約700名の参加を得て、開催されました。

小宅宮城労働局長のご挨拶、宮城県知事からのご祝辞、厚生労働大臣表彰、宮城労働局長表彰、建災防宮城県支部長表彰等の授賞式に続き、大会宣言の採択、行政説明、講演が行われました。行政説明は、宮



城労働局川越労働基準部長が「今求められる魅力ある職場づくり」と題して、また講演は、青森大学客員教授竹林先生から「ナッジを活かした安全衛生～どうすれば働く人が健康で安全な行動ができるか？」と題して、たいへん示唆に富むお話をいただきました。

受賞された皆様(建設業関係)(敬称略)

【厚生労働大臣安全衛生推進賞】菅野吉郎(労働安全コンサルタント・災害復旧・復興工事宮城安全衛生支援センター前所長)

【宮城労働局長賞】

【安全確保対策】鹿島建設(株)東北支店 (仮称)NTT 仙台中央ビル新築工事

【安全衛生推進賞】藤谷廣司(建災防宮城県支部安全指導員(阿部藤建設(株)))

【建災防宮城県支部長賞受賞者】

【優良賞】(株)松川土木、東華建設(株)、遠藤興業(株)、(株)仙北建設、遠正建設(株)、(株)白鳥建設、(株)浅野工務店、(株)熊剛組、坪田工業(株)、(有)西野建設、桂山瓦工業、(株)阿部敏興業、(株)三浦産業圧送、(有)蔵王苗圃、(株)迫防災、(株)ゴトウ塗装工業、(有)阿部板金、(株)小野光商事、(株)サンエーテック、大沼舗設(株)

【功績賞】佐藤修(株)阿部和工務店) 松浦徹信(株)松浦組) 太田博((株)太田工務店) 仲村竜一(春山建設(株))

【夏季休業のお知らせ】8月10日(土)～18日(日)の間、当支部窓口を休業させていただきます。図書・用品について、夏季休業前にお届けが必要な場合は、8月6日(水)午前中に支部あてご注文ください。それ以降のご注文は、8月19日(月)以降の発送となります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

土砂崩壊等の災害防止の徹底を

山形、秋田県内では、7月25日以降の記録的大雨による家屋の浸水、土砂崩壊が発生し、大きな被害が生じております。湯沢市内の高速道路の工事現場では、7月25日に土砂崩壊が発生し、作業していた60代男性が巻き込まれ、行方不明となりました。今後、台風等による大雨による河川の増水、土砂崩壊が懸念される季節を迎え、地山崩壊等の安全対策の再確認をお願いいたします。

大雨に対する土砂崩壊災害・土石流災害防止対策等【参考】	参考法令等
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地山の掘削を伴う工事(河川の堤防の補修等の工事を含む)の施工は、大雨の影響により地山に緩みが生じている可能性に十分に留意の上、作業箇所及びその周辺の地山の形状、地質及び地層の状態、含水及び湧水の状態等を十分に調査し、調査結果を踏まえた作業計画を定める。 2. 掘削作業は点検者を指名し、作業箇所及びその周辺の地山を通常より頻度を高めて点検し、地山の異常を早期発見に努める。必要により地山の状況を監視者を配置して配置。 3. 土砂崩壊のおそれのある場合、土止め支保工を設ける、防護網を張る、労働者の立ち入りを禁止する等の措置を講じる。 4. 法面の崩壊や落石等の危険がある場合には、作業員への連絡方法、その対処方法等を記載した安全作業マニュアル等を作成し、これに基づいて作業を実施すること。 5. 日常点検、変状時の点検を確実にを行い、斜面の変状に進行があった場合は、施工者、発注者等は、安全性検討関係者会議を開催し、対策を検討。 6. 復旧工事で、地山掘削を伴わない工事でも、斜面近傍で工事をする場合、上記の措置に準じた事前調査及び点検、土砂崩壊防止の措置の徹底。 7. 土石流危険河川の工事施工は、作業場所から上流の河川の形状、その周辺における崩壊地の状況等を十分に調査する。豪雨前から着工している工事についても、必要に応じ改めて調査。 8. 土石流の早期把握等のための警戒降雨量基準、作業を中止して労働者を退避させる作業中止降雨量基準等を、必要に応じ見直す。降雨量が警戒降雨量基準に達していなくても、危険が予想される場合には、作業場所から上流の状況を監視する等の措置を行う。 9. 警報用設備及び避難用設備の点検を実施、警報及び避難の方法等を労働者に十分周知する。 10. 自然災害等に対する「緊急マニュアル」を作成し、被害状況調査時の対応について、あらかじめ体制・実施方法等検討しておくこと。その際、危険箇所へは近寄らない等安全を確保すること。また、夜間等視界が十分確保できない場合は原則実施しないこと。 	<p>安衛則第 355 条</p> <p>安衛則第 358 条</p> <p>点検時期～作業開始・終了後、降雨の後、連続降雨、大量降雨、日照り干天が続いた後の降雨、降雨中(地山掘削作業主任者テキストより)</p> <p>安衛則第 361 条</p> <p>【斜面崩壊による労働災害の防止対策に関するガイドライン (H27.6.29 基安発安発 0629 第1号)】参照</p> <p>安衛則第 575 条の 9</p> <p>安衛則第 575 条の 14</p> <p>安衛則第 575 条の 15</p> <p>大雨～1回の降水量が50mm以上の降雨を言う。(昭46・4・15 基発第309号)</p>



令和6年度 全国建設業労働災害防止大会は、創立60周年記念大会として、東京都内で開催されます。参加券は当支部で販売中です。

総合集会 令和6年10月3日(木) 東京ビックサイト

専門部会 令和6年10月4日(金) 東京国際フォーラム

【窓口臨時休業のお知らせ】10月3日(木)・4日(金) 建災防全国大会対応のため、当支部事務所窓口を休業させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。(事務局)



建設業労働災害防止協会 宮城県支部

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階

電話 022-224-1797 Fax 022-265-5604